

現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	61
場所	B X 2 通り
部位	W 1 8

壁立上がり筋との定着長さ (L1 : D10×40 = 400mm以上) が確保されていることを確認。



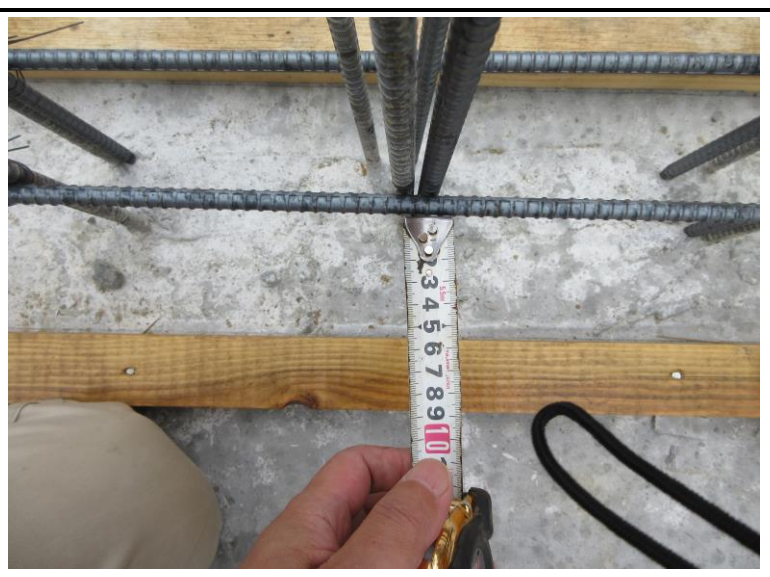

令和5年6月22日	
NO	62
場所	B X 2 通り
部位	W 1 8

壁厚さ (180mm : 界壁部分である為、増し打ちは無し) が計画通りであることを確認。




令和5年6月22日	
NO	63
場所	B X 2 通り
部位	W 1 8

鉄筋かぶり厚さ (30mm以上) が確保されることを確認。

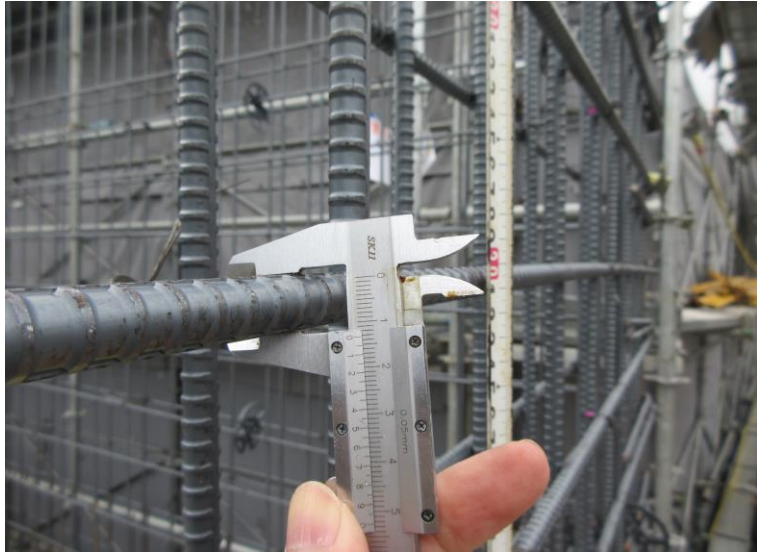



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	64
場所	BY4通り
部位	W18C
計画通りに配筋組 (D13@150mmダブル：縦横共) が行われていることを確認。	



令和5年6月22日	
NO	65
場所	BY4通り
部位	W18C
同上。	



令和5年6月22日	
NO	66
場所	BY4通り
部位	W18C
同上。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	67
場所	BY4通り
部位	W18C
同上。	




令和5年6月22日	
NO	68
場所	BY4通り
部位	W18C
壁端部が計画（施工図）通りに閉塞されていることを確認。	




令和5年6月22日	
NO	69
場所	BY4通り
部位	W18C
壁立上がり筋との定着長さ（L1：D13×40＝520mm以上）が確保されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	70
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8

計画通りに配筋組（横筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。




令和5年6月22日	
NO	71
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8

計画通りに配筋組（縦筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。  
（縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）





令和5年6月22日	
NO	72
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8

計画通りに巾止め筋が設置されていることを確認。（D10@1,000mm）




現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	73
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8
同上。	




令和5年6月22日	
NO	74
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8
スペーサーが適切に設置（交換）されていることを確認。	

A close-up photograph of the rebar structure. A yellow measuring tape is held vertically against the rebar, showing measurements from 1 to 10 cm. A grey metal spacer is attached to the rebar.




令和5年6月22日	
NO	75
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8
B X 5 通りの W 1 8 への定着（L型交差部：片側閉塞）は、計画通りの定着長さ（L2：D10×35=350mm以上）が確保されていることを確認。	

A wide-angle photograph of the construction site showing the scaffolding and rebar structure. The rebar is arranged in a grid pattern, and the scaffolding is visible in the background.


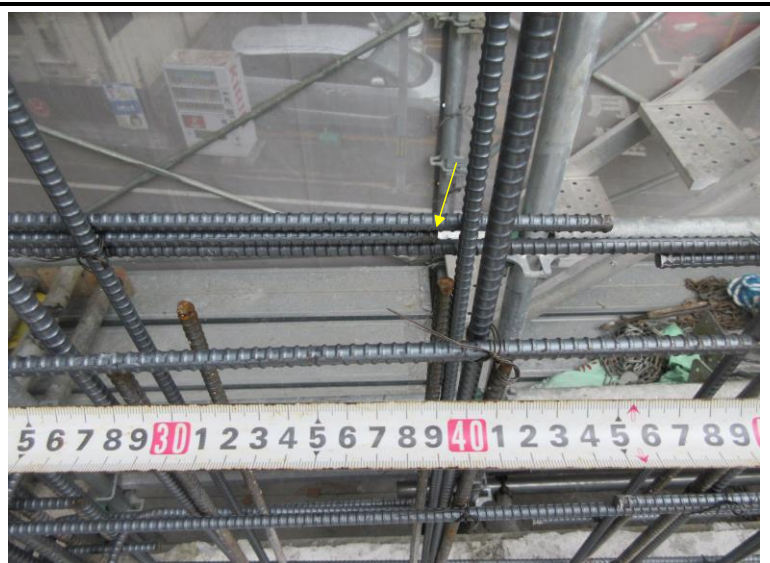


現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	76
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8
同上。	




令和5年6月22日	
NO	77
場所	B X 3 通り
部位	W 1 8
同上。	





令和5年6月22日	
NO	78
場所	B Y 1 通り
部位	W 1 8
開口端部には計画通りの補強筋（横筋：2-D13）が設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録


令和5年6月22日	
NO	79
場所	BY1通り
部位	W18
同上。	




令和5年6月22日	
NO	80
場所	BY1通り
部位	W18
開口補強筋（横筋：2-D13）は、定着長さ（ $L1 : D13 \times 40 = 520\text{mm}$ 以上）が十分確保されていることを確認。	




令和5年6月22日	
NO	81
場所	BY1通り
部位	W18
同上。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	82
場所	BY1通り
部位	W18
開口端部には計画通りの補強筋（縦筋：4-D13）が設置されていることを確認。	




令和5年6月22日	
NO	83
場所	BX1通り
部位	W18
開口端部には計画通りの補強筋（横筋：2-D13）が設置されていることを確認。	




令和5年6月22日	
NO	84
場所	BX1通り
部位	W18
開口端部には計画通りの補強筋（横筋：2-D13）が設置されていることを確認。	






現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月22日	
NO	85
場所	B X 1 通り
部位	W 1 8
開口補強筋（横筋：2-D13）は、定着長さ（L1：D13×40=520mm以上）が確保されていることを確認。	




令和5年6月23日	
NO	86
場所	A Y 2 通り
部位	W 1 8
W18壁端部に鉄筋の偏りによって鉄筋かぶり厚さの不足箇所があることを指摘。	




令和5年6月23日	
NO	87
場所	A Y 2 通り
部位	W 1 8
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	